

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）
募集要項

令和3年6月29日
一般社団法人 中央酪農会議

1. 目的

「総合的な TPP 等関連政策大綱」に即し、国産チーズの競争力を高めるとともに、その需要を確保し、我が国の酪農・乳業関係者が将来にわたって安定的に国産チーズの生産に取り組めるようにするためには、製造面での品質向上・ブランド化等の取組等を支援する必要がある。

このため、一般社団法人中央酪農会議（以下「中央酪農会議」という。）では、国産乳製品等競争力強化対策事業の一環として、以下により、国産ナチュラルチーズの製造技術を習得するための国内チーズ工房での長期研修事業を実施し、もって畜産・酪農の国際競争力の強化に資するものとする。

2. 内容

国内のチーズ製造技術者が、自チーズ工房以外のチーズ工房において1か月以上（休日含む。）の長期研修を受ける場合の研修費等を予算の範囲内で助成する。

3. 対象となるチーズ製造技術者

日本国内でチーズの製造・販売を行っているチーズ工房の製造技術者等

4. 対象となる研修の期間

本事業の対象にできる研修は、1か月以上の研修期間（令和3年11月1日以降に開始され、令和4年2月末までに終了する研修に限る。）のものとする。

5. 助成対象経費と整備すべき証拠書類

助成対象経費	内容	助成率	整備すべき証拠書類
1. 交通費	○中央酪農会議旅費規程に基づく勤務先（自チーズ工房）と研修先との往復の交通費	定額	○公共交通機関を利用する場合、必要なし ○航空機を利用する場合は、航空券の領収書及び搭乗券（半券）
2. 宿泊費	○研修期間中の宿泊費（実費）。研修期間中の研修休業日を含む ○11,000円/日（税込）を上限	定額	○領収書（税別、税込の別を記載すること）
3. 研修費	○研修期間中に研修先に支払った研修費	定額	○領収書（税別、税込の別を記載すること）

注：消費税相当額は、助成の対象外。

6. 助成対象にできる研修費について

助成対象にできる研修費（1か月分の上限）は、以下により算定される金額のうち、最も少ない金額とする。

- (1) 研修先チーズ工房が定める研修費
- (2) 2,400円×1か月の間に実際に受けた研修時間
- (3) 192,000円/月

※ いずれも税抜き

7. 本事業参加及び助成に当たっての事務手続き

(1) 参加申込及び助成対象者の決定

- ① 本事業の助成を検討する者は、別紙様式第1号の『国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）事前照会』を中央酪農会議に提出し、交通費等の照会を求める。

事前照会提出期限：令和3年8月16日（月）

- ② 本事業による助成を希望する者（以下「助成希望者」という。）は、①による事前照会を踏まえ、以下の期限までに別紙様式第2号の『国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）参加申込書』に必要事項を記入し、中央酪農会議会長に提出する。

参加申込書提出期限：令和3年9月1日（水）

（参加申込書は、事前照会を行った者のみ提出可能）

- ③ 助成希望者は、参加申込書の提出に当たって、あらかじめ研修先と連絡を取り、研修の実施について内諾を得ていることを原則とするが、研修先が見つからない場合、中央酪農会議に受入可能なチーズ工房の照会を行うことができる。
- ④ 中央酪農会議会長は、選考委員会において、予算の範囲内で、本事業の助成対象者を選定し、参加申込書の提出者に選考結果（助成対象としての適否及び助成対象経費の限度額）を通知する。
- ⑤ なお、中央酪農会議は、参加申込書の提出者に参加申込書の記載内容の照会を行うことがある。

(2) 研修の実施及び日報等の作成

- ① 助成対象者は、選考結果の通知があった後、提出した参加申込書に基づく長期研修を実施する。
- ② 助成対象者は、研修期間中、別紙様式第3号の『国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）研修日報』を、また、研修終了後、別紙様式第4号の『国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）成果報告書』を作成する。

(3) 実績の報告

助成対象者は、長期研修終了後、20日以内に別紙様式第5号の『国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）実績報告書』に（2）の日報及び成果報告書を添付し、中央酪農会議会長に提出する。

(4) 助成対象経費の支払い

中央酪農会議会長は、実績報告書の提出があった後、適当と認められた場合、助成対象者に助成対象経費を支払う。

8. 中央酪農会議の支援

中央酪農会議は、長期研修の受入が可能なチーズ工房等に関する調査を行い、必要に応じて助成希望者に情報提供する。

9. 研修中のチーズ工房業務等への従事について

- (1) 受入先のチーズ工房は、研修期間中に当該チーズ工房の業務に研修者を従事させることができる（賃金支払い可）。
- (2) ただし、業務への従事時間は研修時間とは別に設けることとし、研修費の対象にはできない。

10. 研修内容等の変更

研修実施前及び研修実施中に申込書等に記載された内容から変更があった場合は、直ちに中央酪農会議に連絡・相談し、指示を仰ぐこと。

中央酪農会議への連絡・相談をせず研修内容等を変更した場合、研修等に要した費用の全部又は一部が助成対象とならない場合がある。

11. 助成対象経費の返還等

中央酪農会議会長は、助成対象者が、研修を中止した場合、虚偽の報告を行ったことが確認された場合等においては、支払った助成対象経費の一部又は全部を返還させることができる。

別紙様式第1号

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における
国内長期研修事業）事前照会

令和 年 月 日

一般社団法人 中央酪農会議 御中

チーズ工房名 _____

令和3年度において、標記事業への参加を下記のとおり検討しているため、助成の対象となる交通費等について照会します。

記

1. 自チーズ工房の概要

(1) 所在地： _____

(2) 長期研修予定製造技術者氏名： _____

(3) この件に関する問い合わせ先

担当者氏名： _____

連絡先： TEL _____ FAX _____

E-mail _____

(4) 最寄駅等の名称（駅、バス停留所、空港等の名称）及び交通機関名

名称： _____ 交通機関の種類： _____ 交通機関の名称： _____

2. 予定している長期研修の概要

(1) 研修先工房名： _____

(2) 所在地： _____

(3) 最寄駅等の名称（駅、バス停留所、空港等の名称）及び交通機関名

名称： _____ 交通機関の種類： _____ 交通機関の名称： _____

(4) 研修期間

令和 年 月 日～令和 年 月 日

別紙様式第2号

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における
国内長期研修事業）参加申込書

令和 年 月 日

一般社団法人 中央酪農会議
会長 中家 徹 殿

チーズ工房名 _____

代表者氏名 _____ (印)

令和2年度において、標記事業に参加したいので、下記のとおり申し込みます。

記

1. 自チーズ工房の概要

(1) 製造しているチーズの種類等

製造している チーズ名	種類（タイプ）	1個あたり大きさ （〇〇g等）	前年度製造量（概算） （〇個又は〇kg等）

注：必要に応じて行数を追加すること。

(2) 従業員数（パート等含む）： _____ 人

2. 長期研修先の概要

(1) 研修先工房名： _____

(2) 代表者氏名： _____

(3) 所在地： _____

(4) 製造しているチーズの種類（全て記入）：

3. 研修を受ける製造技術者の概要

氏名： _____ 年齢： _____ 歳 性別： _____

チーズ製造歴（注1）： _____ 年 _____ か月

種類ごとのチーズ製造歴（注1）

種類	製造に携わった期間	携わっていたチーズ工房名
	年 _____ か月	
	年 _____ か月	
	年 _____ か月	

注1：現在の工房以外での期間を含めること。

注2：必要に応じて、行数を追加すること。

4. 研修する予定のチーズの種類・動機・内容

種類： _____

目的（動機）

研修内容（研修により習得したい技術等）

--

研修後の予定（習得した技術の活用方法の予定）

--

5. 長期研修の計画

(1) 研修期間：令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日

< 研修予定時間（休日の曜日は空欄） >

日曜日	時	分～	時	分（	時間）
月曜日	時	分～	時	分（	時間）
火曜日	時	分～	時	分（	時間）
水曜日	時	分～	時	分（	時間）
木曜日	時	分～	時	分（	時間）
金曜日	時	分～	時	分（	時間）
土曜日	時	分～	時	分（	時間）

(2) 研修実施日における平均的な研修スケジュール

(研修時間と研修以外の時間、休憩時間、内容が分かるよう記載すること。)

	研修時間 (予定)	研修内容 (予定)
6:00		
7:00	↑ ↓	〇〇チーズ製造
8:00		
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00	↑ ↓	△△チーズ製造
14:00		
15:00		
16:00	↑ ↓	熟成管理
17:00		
18:00		

注1：記入欄は、必要に応じて追加すること。

注2：研修先工房に研修スケジュール（予定）を聴き取り、記入すること。

注3：研修時間（予定）は、製造技術者から直接指導を受ける時間とし、指導を受けた後、作業を一人で行う時間は研修時間に含まない。

(3) 研修期間中の宿泊先

名称： _____

住所： _____

TEL： _____

(4) 研修先との往復の交通手段（いずれかに○）

公共交通機関 ・ 自家用車 ・ その他（ _____ ）

(5) 研修に要する経費（概算）

	金額			日数 (日)	1日当り単価 (税抜) (円)
	金額(総額、税込) (円)	金額(税抜) (円)	消費税等 相当額 (円)		
1. 交通費					
2. 宿泊費					
3. 研修費					
合計					

注：日数の欄は、宿泊日数及び研修日数を記入。

別紙様式第3号

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における
国内長期研修事業）研修日報

研修先チーズ工房名 _____

指導者氏名 _____ (印)

助成対象者チーズ工房名 _____

氏名 _____ (印)

研修日：令和 年 月 日 ()

(研修時間と研修以外の時間、休憩時間、研修内容が分かるよう記載すること。)

	研修時間	研修内容
6:00		
7:00	↑ ↓	〇〇チーズ製造
8:00		
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00	↑ ↓	△△チーズ製造
14:00		
15:00		
16:00	⇄	熟成管理
17:00		
18:00		

注1：記入欄は、必要に応じて追加すること。

注2：研修時間（予定）は、製造技術者から直接指導を受ける時間とし、
指導を受けた後、作業を一人で行う時間は研修時間に含まない。

研修内容（詳細）

別紙様式第4号

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における
国内長期研修事業）成果報告書

助成対象者チーズ工房名_____

氏名_____ (印)

1. 研修先工房名：_____

2. 研修期間（実績）：
令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日

3. 研修成果：

研修を受けたチーズの種類：_____

目的（動機）

--

研修内容（研修により習得した技術等）の実績

--

研修後の予定（習得した技術の活用方法）

別紙様式第5号

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における
国内長期研修事業）実績報告書

令和 年 月 日

一般社団法人 中央酪農会議
会長 中家 徹 殿

助成対象者チーズ工房名 _____

代表者氏名 _____ (印)

令和2年度において、標記事業を実施したので、下記のとおり実績を報告します。

記

1. 研修先工房名： _____

2. 研修期間（実績）

令和 年 月 日～令和 年 月 日

3. 当チーズ工房から研修に参加した製造技術者氏名： _____

4. 研修成果等

別紙様式第3号及び別紙様式第4号のとおり

5. 研修に要した費用

	金額			日数 (日)	1日当り単価 (税抜) (円)
	(総額、税込) (円)	金額(税抜) (円)	消費税等 相当額 (円)		
1. 交通費					
2. 宿泊費					
3. 研修費					
合計					

注：日数の欄は、宿泊日数及び研修日数を記入。

6. 助成金支払先口座名等

銀行名： _____ 支店名： _____

口座の種類（普通・当座等）： _____

口座番号： _____

口座名義人： _____

口座名義人（カタカナ）： _____

7. 添付書類

- (1) 別紙様式第3号及び別紙様式第4号
- (2) 宿泊及び研修費に係る領収書
- (3) 航空券半券及び航空費に係る領収書（航空機利用の場合のみ）